

伊予富士 (1756m) & 安居溪谷--① [実施日--2024年11月11~12日]



(テーマ)伊予富士の絶景と安居溪谷の仁淀ブルーの風情を楽しむ

※弥生班 計 7名

① (登山口)



② (桑瀬峠)



③ (笹原)



④ (伊予富士の山頂)



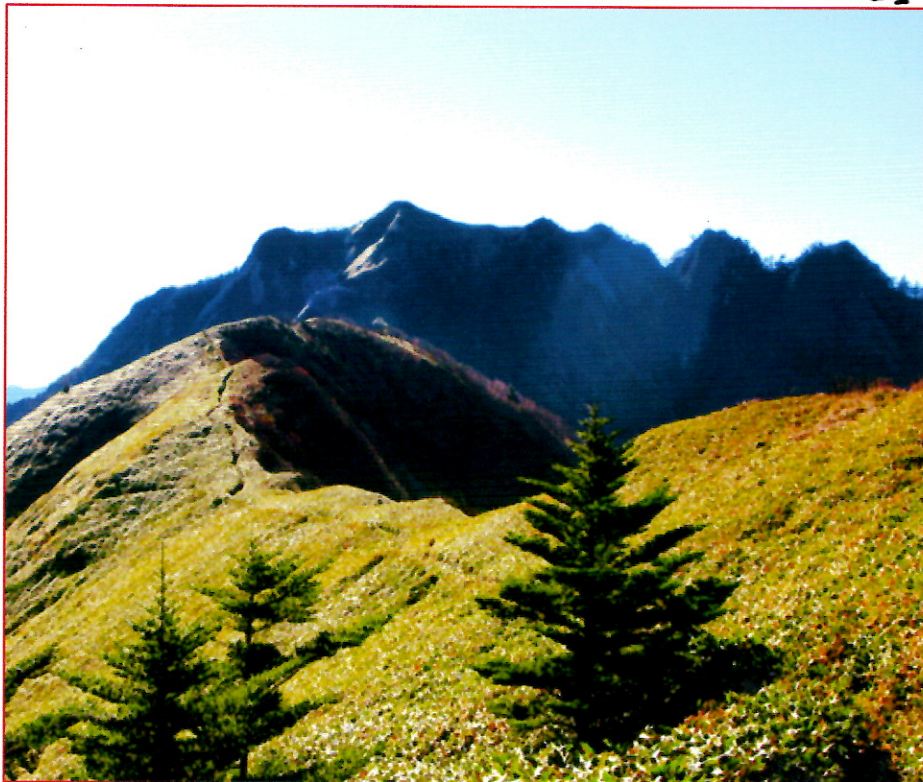
⑤ (下山--1)



⑥ (下山--2)



⑧ (伊予富士の全景)



⑦ (下山--3)



伊予富士 (1756m) & 安居溪谷--② [実施日--2024年11月11~12日]

⑨ (安居溪谷の宝来荘)



⑩ (宝来荘での夕食)



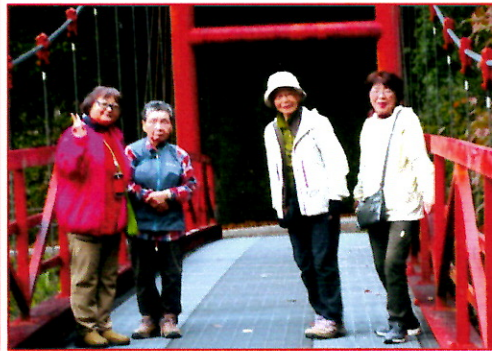
⑬ (乙女河原--1)



⑫ (早朝散歩--2)



⑪ (早朝散歩--1)



⑭ (乙女河原-2)



⑯ (ダイヤモンドソウ)



⑰ (せり割洞窟)



⑮ (飛龍の滝)



⑱ (水晶淵の仁淀ブルー)



(写真1) (準備体操)



- ・夜中の2時40分和歌山を出発し、フェリーで徳島港着。高速道路経由で旧寒風トンネル南口の駐車場に8時30分着く。先ずは、体を解し準備体操!!

(写真2) (登山口)



- ・登山口は、寒風山と同じ登山口です。

(写真3) (急登)



(写真4) (ハシゴ)



- ・登り始めから急登で、ハシゴやロープをよじ登る。

(写真5) (桑瀬峠)



- ・桑瀬峠で右は寒風山方面、左は伊予富士方面の分岐点となる。残念ながらガスがかかり、視界は×

(写真6) (笹原)



(写真7) (尾根を進む)



(写真8) (伊予富士麓の急登)



(写真9) (伊予富士の山頂-1)



・晴天に見えるが周りはガスで遠くの景色が見えない。

(写真12) (下山)

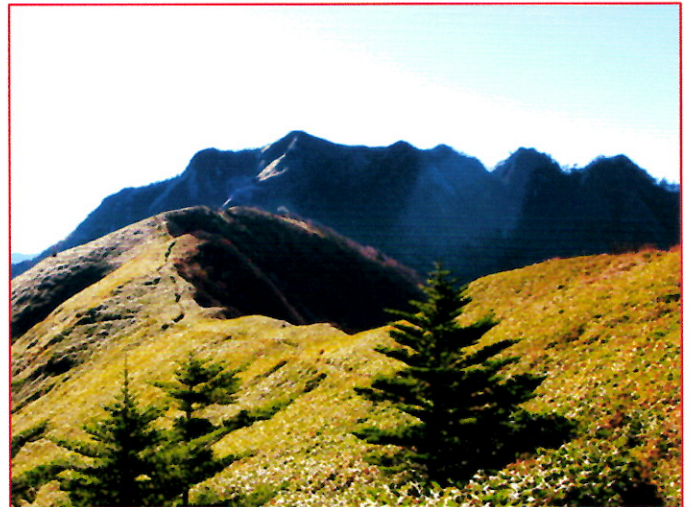


・下山途中からガスが晴れ展望が開ける。

(写真10) (伊予富士の山頂-2)



(写真13) (伊予富士の全景)



・尾根筋に下山した頃、ガスが取れ伊予富士の全景が現れる。

(写真11) (山頂で昼食)



(写真14) (安居溪谷の宝来荘)



・下山後、車で移動し本日の宿泊する場所である安居溪谷宝来荘に17時30分到着。

(写真 15) (夕食)



- ・まずは、乾〜杯。
アメゴや地元の山菜料理を楽しむ。

(写真 16) (飛龍の滝)



- ・安居溪谷の見どころ。落差 30m の 2 段の滝、龍が体をくねらせ飛び立つような姿とのこと。

(写真 17) (せり割洞窟)



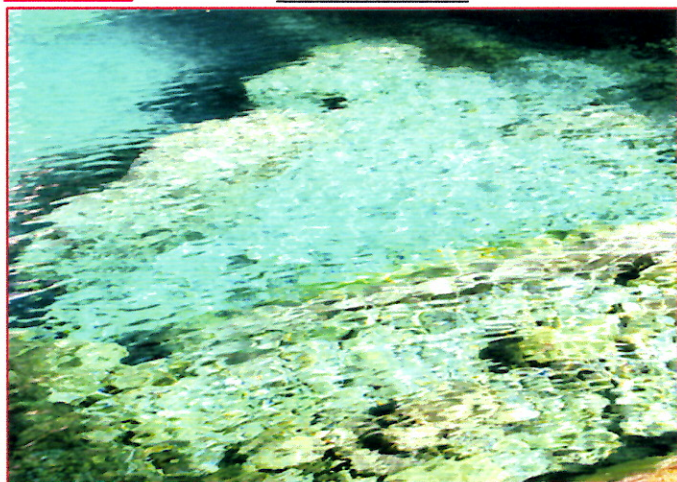
- ・洞窟でくぐり抜けることができる。

(写真 18) (水晶淵)



- ・「仁淀ブルー」と言われるエメラルドグリーン
のせせらぎ。

(写真 19) (仁淀ブルー)



- ・仁淀川は、急峻な地形で流れが速く、不純物
が留まりにくく、比較的水温が低く波長が短
い青い光を反射するので、青く見えるとの
こと。

※[最後に]

- ①前年に瓶ヶ森から伊予富士方面の景観に感動し今回の伊予富士への計画となったが、今回は山頂では残念ながらガスがかかり今回の展望であった。昨年の展望を思い出しながらガスがなければの景観を想像して下山しました。下山途中ではガスが取れ、伊予富士の全景と周りの景色が楽しめました。
- ②仁淀川の上流の安居川は「仁淀ブルー」といわれる清流で、溪谷全体が美しいパワースポットになっており、特に「飛龍の滝」は迫力があった。
- ③帰路ではカツオ料理を楽しみ、初日の伊予富士、2日目の安居溪谷の散策と満足する四国の旅ができました。